

新庁舎建設特別委員会の概要（第7回）

- 1 日 時 平成29年6月27日（火） 11時00分～12時00分
- 2 場 所 第1議会委員会室
- 3 出 席 全委員
- 4 内 容
 - 1 新庁舎整備基本構想について
 - ・施設経営課の説明
 - ・「新庁舎に求める危機管理機能」について（各位意見発表）
 - 2 その他

配布資料

- ① 美濃加茂市新庁舎整備基本構想策定委員会（第3回）議事録
- ② 新庁舎整備基本構想策定委員会「かわらばん」vol. 3
- ③ 市役所新庁舎市民アンケート報告書（速報・単純集計版）
- ④ 今後の予定ほか

はじめに、上記の配布資料について、経営企画部施設経営課から説明を受け、質疑応答がなされた。

①、②は、4月27日に開催された委員会の議事録とその内容の概要で、新庁舎に求められる基本的な機能や役割について話し合われた等の報告を受けた。

③については、5月1日から25日にかけて実施された、アンケートの速報・単純集計の結果についての説明があった。結果から、市民は、現段階として新庁舎整備に対する関心はやや低い（少し関心がある41.1%・あまり関心がない24.1%）ように見受けられるが、新庁舎には、「用事がなくても立ち寄れるような場所がよい」（43.0%）と、新庁舎を活用したまちづくりを望む意見も多いことが分かった。なお、結果の詳細な分析は今後行われる。

④は、6月27日に行われた「川と森の勉強会」にて実施した、市民意見の広聴の内容と今後の新庁舎に関する取り組み（策定委員会、市民ワークショップ、おでかけワークショップ、直接聞き取りによる新庁舎市民アンケート）のスケジュールについて説明があった。

委員からは、市民は新庁舎をどこに建設するかが最大の関心事であるので、先に施設の機能をイメージすることは難しいのではないかと、新庁舎の多目的化は、市全体の公共施設の整備も含めて検討する必要がある、といった意見が出され、施設経営課からは、場所について、3カ所程度まで絞り込み、今後提示し、意見聴取できるように取り組んでいくとの返答があった。

また、「新庁舎に求める危機管理機能」について、各委員から発言を求めた。出された意見は下記のとおり。

◆建物として…

- ・市民が避難場所として集まりやすい立地。
- ・議場も含め、普段は多目的に利用ができ、災害時に転用可能とする。
- ・被災した場合も考え、代替施設も整備する。
- ・ヘリポートを設置する。
- ・水害、火災など各災害の危険性が少ない場所とする。
- ・災害時でも交通に影響のない場所とする。
- ・核シェルターなど、テロ等にも備えた施設とする。

◆災害対策本部として…

- ・災害時の初動が早く取れる。
- ・拠点機能として十分である。
- ・大型スクリーンを設置する。
- ・継続して数日間使用できる。
- ・システム整備として、電源の確保、インターネット回線、データの分散等災害時にも迅速に対応できるようにしておく。
- ・特定の職員だけでなく、全職員が運用できる体制・機能とする。

◆平常時の体制として…

- ・各種団体との連携を密にする。
- ・情報収集能力を高めておく。
- ・各協定の内容を確認しておく。

◆他施設との連携…

- ・消防署や他の官公庁施設との複合化。